

## 平成26年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	社会福祉援助技術演習Ⅱ (Skills Training for Social Work Practice Ⅱ)		授業コード	E021601
担当教員名	野中 義光, 鍋田 耕作, 河村 裕次		科目ナンバリングコード	E30927
配当学年	3	開講期	通年	
必修・選択区分	選択	単位数	2	
履修上の注意または履修条件	「社会福祉援助技術演習Ⅱ」・「社会福祉援助技術現場実習指導」・「社会福祉援助技術現場実習」の3科目を必ず同時に履修することが条件となります。			
受講心得	聴くこと、見ること、調べること、そして、真剣に考え、積極的に取り組むことを心がけてください。 また、やむを得ない場合を除いて、欠席、遅刻は認められません。			
教科書	相澤譲治・植戸貴子他編(2012)『ソーシャルワーク演習ケースブック』みらい			
参考文献及び指定図書	澤伊三男他編『社会福祉援助技術演習ワークブック』相川書房 山田容他著『ワークブック社会福祉援助技術演習1～5』ミネルヴァ書房			
関連科目	相談援助の基盤と専門職, 相談援助の理論と方法, 高齢者福祉論, 障害者福祉論, 児童福祉論, 公的扶助論, 社会福祉援助技術現場実習, 社会福祉援助技術現場実習指導, 社会福祉援助技術演習Ⅰ			

授業の目的	(社会福祉援助技術演習Ⅰ・Ⅱ共通) 相談援助の知識と技術に係る他の科目との関連性も視野に入れつつ、社会福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術について、実践的に習得するとともに、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。
授業の概要	社会福祉援助技術演習Ⅰ・Ⅱ(1～30回)は、社会福祉実習を行う前に必要な学習に位置づけ、社会福祉援助技術演習Ⅱでは、具体的な相談援助事例等を用い、総合的かつ包括的な援助について実践的に習得する。なお、講義については、個別指導並びに集団指導を通して、具体的な援助場面を想定した実技指導を中心とする演習形式で行う。 また、社会福祉援助技術演習Ⅱ(31～60回)は、実習前に習得した相談援助に係る知識技術を踏まえ、事例検討として地域福祉の基盤と開発に係る事例を取り上げるとともに、社会福祉実習後の授業においては、実習における実習生の個別的な体験に基づく援助事例を活用することにより、個別的な体験を一般化し、実践的な知識と技術の習得を目指す。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
<b>第1週：オリエンテーション</b> 演習Ⅰの振り返り 社会福祉援助技術演習Ⅱの意義、目的の説明 社会福祉援助技術Ⅰの振り返り及び演習Ⅱとの関連について	配布資料
<b>第2週：実践モデル・アプローチ①(ケースマネジメント)</b> 生活ニーズのとらえ方について理解する	プランニングシートの提出
<b>第3週：実践モデル・アプローチ②(ケースマネジメント)</b> 生活ニーズと社会資源の連結方法について理解する	ワークシートの提出
<b>第4週：実践モデル・アプローチ③(治療モデル・生活モデル)</b> 各モデルの着眼点、考え方、介入の違いについて理解する	プランニングシートの提出
<b>第5週：実践モデル・アプローチ④(ストレングスモデル)</b> 利用者の”強さ”に焦点化し、アセスメントを行う	ワークシートの提出
<b>第6週：実践モデル・アプローチ⑤(問題解決アプローチ)</b> 問題解決アプローチの考え方を理解する	プランニングシートの提出
<b>第7週：実践モデル・アプローチ⑥(行動変容アプローチ)</b> 行動変容アプローチの考え方を理解する	ワークシートの提出
<b>第8週：実践モデル・アプローチ⑦(エンパワメントアプローチ)</b>	

多次元でのアセスメントや多面的な支援について理解する		ローチ・「ネットワーキング」の意義・目的・方法について	プランニングシートの提出
第 9 週：事例①(児童虐待) 利用者の状況をよく理解し、その状況に応じた援助を構築する			ワークシートの提出
第 10 週：事例②(高齢者虐待) 虐待を受ける高齢者だけではなく、虐待をする家族の心情やニーズも理解する			プランニングシートの提出
第 11 週：事例③(家庭内暴力 DV) DVが被害者に及ぼす影響、被害者が直面する生活問題について理解する			ワークシートの提出
第 12 週：事例④(ホームレス) ホームレスめぐる生活・社会環境の特徴を把握し自立に向けた社会福祉サービスや制度の実際を知る			プランニングシートの提出
第 13 週：事例⑤(権利擁護) 権利擁護の意義・目的について理解するとともにその実際を知る			ワークシートの提出
第 14 週：事例⑥(地域福祉) 行政・社協現場における地域福祉の実際について理解する			ワークシートの提出
第 15 週：事例⑦(地域福祉) NPO法人による地域福祉の実際について理解する			振り返りレポートの提出
第 16 週：オリエンテーション 後期演習Ⅱの意義、目的、内容についての説明		配布資料	
第 17 週～第 18 週：事例の作成 実習での経験等をもとに、事例を作成する		事例作成シートの提出	
第 19 週～第 29 回：事例検討会 学生が作成した事例をもとに事例検討会の実施 ロールプレイ、グループワークやプレゼンテーションを含む講義内容を計画		ワークシートの提出	
第 30 週：振り返り 演習Ⅰ、演習Ⅱの内容を振り返るとともに、専門職に求められる知識、技術について再考する		振り返りレポートの提出	
授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」	
	(2)複数担当の場合の方式	「共同担当方式」	
	(3)アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」	
備考	グループワークが中心とした講義となります。		

<b>○単位を修得するために達成すべき到達目標</b>	
<b>【関心・意欲・態度】</b>	グループ活動に積極的に参加することができる。
<b>【知識・理解】</b>	社会福祉士に求められる相談援助に係る知識について理解している。
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b>	グループ活動や発表において、自分の考えを適切に伝えることができる。
<b>【思考・判断・創造】</b>	講義を通じて、学んだことを専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる。

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等(テスト)	レポート・作品等(提出物)	発表・その他(無形成果)	
<b>【関心・意欲・態度】</b> ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		15点	10点	
<b>【知識・理解】</b> ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。		15点	10点	
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b> ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		15点	10点	
<b>【思考・判断・創造】</b> ※「考え抜く力」を含む。		15点	10点	
<b>(「人間力」について)</b> ※以上の観点到、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。				

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
<b>レポート・作品等(提出物)</b>	<p>プランニングシートやワークシート等の提出物をもとに総合的に判断します。</p> <p>[Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。</p> <p>[Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。</p> <p>[Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。</p> <p>[Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。</p>
<b>発表・その他(無形成果)</b>	<p>講義・グループ活動への参加をもとに総合的に判断します。</p> <p>[Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。</p> <p>[Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。</p> <p>[Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。</p> <p>[Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。</p>